

## 町長との行政懇談会 質疑応答

日 時：平成 23 年 12 月 1 日（木） 午後 7 時～午後 8 時 50 分

場 所：田中公民館

対 象：田中・朝倉地区

参加人員：28 人

Q. 各種委員会（教育委員会など）は公開すべきでないか。また、百会議の推薦委員が従来の関係団体が入っているが、別の分野の部会に入れるべきだ。

A. できるだけ公開にすべきと思う。ただ教育委員会は別組織なので、町長としては口を出し難い。委員会の構成については、改めるべきは改める。

Q. 情報公開請求したら、文書が真っ黒で何も分からない。やり方の検討を。

A. 文書公開は個人情報保護の問題もあり、難しい。

Q. 学校、幼稚園に安定ヨウ素剤（放射線障害予防）の配布をすべきだ。

A. 伊方も福島と危険性は変わらない。今後考えていかなければならない問題である。

Q. 学校敷地には駐車場という地目はない。先生が自家用車を置くことは法律に反する。適当な地目を設定すべきだ。また、車を沢山置けば燃料が危険物扱いになる。

A. 駐車スペースは必要な施設である。子どもの教育上支障が出ているのなら、考えなければならない。

Q. 下水道事業は中間水の再利用を考えたかどうか。また、発電に利用して処理場の電気を賄う方法を考えたかどうか。

A. 中間水の再利用は考えたい。発電については、現在は事業の着工を最優先に考えているので、そこまで考えていない。

Q. コミュニティバスはもっと小型の車で山間部へ延長したらどうか。100 円という料金は見直しても良い。運行時間を公共施設が開いている午後 9 時くらいまで伸ばすべきだ。

A. 今のバスは低床式のため、山間部へは行けない。山間部のアンケート調査をしているので、その結果をみて需要をみて考えたい。

Q. 議員の能率給を導入すべきだ。

A. 全国的な風潮ではあるが、直接選挙で選ばれた議員であり、議員自身で考えてもらうべき問題である。

Q. 町長の考え、方向性が見えた気がした。大事なところにお金を使って欲しい。子どもにお金を使うことが大切。エアコンもずっと要望してきたものが、あっという間に付いた。現場の先生の声を聞くことが大切と思う。

A. 若い先生の声を聞いてみたい。

Q. 平成 16 年に大きな被害があった。今年も 9 月の台風で同じような被害が出た。対策を実施して欲しい。

A. 橋のかさ上げを 24 年度で実施する。朝倉川は抜本的な対策を県と相談している。

Q. コミュニティバス、さぬき市は大川バスに委託している。現在より南の吉谷消防屯所のところで転回できるので、そこまで延ばせないか。少しずつ、できるところから手をつけて欲しい。

A. 検討してみる。

後日、道路幅員や安全性などの問題で今のバスの路線延長は難しいが、山間部の交通体系について検討中である旨、回答。

Q. 天枝分園を田中の北部公民館として、利用したい。

A. 建物はまだ使える。全部を公民館にするには広い。子どもの預かり場所にも使いたい。地元の意見をまとめて欲しい。

Q. 東讃南部農道と農免道路との間の道を町道にできないか。

A. 町道である。管理は町です。

Q. 町営バスは大きなバスに無理があるのでは。タクシー会社と契約すればよいのでは。

A. 現在のバスは町の所有であり、タクシーとの両方は負担が大きい。検討させて欲しい。

Q. 田中地区の下水道事業について、今やってるのが終わってからでは遅い。

A. 今は着工に全力を注いでいる。こちらまでは、今は困難。

Q. 長楽寺橋の架け替えを要望してきたが未だにできていない。歩道橋を架けるという話を聞いたが自転車道もつけて欲しい。

A. 県道であり、県が設計中と聞いている。確認する。

後日、香川県が平成 23 年度に測量を実施する計画である旨、回答。

Q. 補助金を何もしないところへは出さないというのは良い。川原は活発に活動しているので、よろしく。

A. 川原が活発に活動していることは承知している。ただ、補助金を全部切るということではない。

Q. 田中小学校の校区を見直さなければ、田中小が消滅する。吉田川西側の氷上分を田中に入れたらどうか。

A. 懸案事項である。氷上ばかり増えて、田中は一番減少している。ただ、過去の経緯もあり、議会で声を出してもらわないと難しい。地元議員への働きかけを。

Q. 元の校区に戻せば良い。柳原、西地が平井小学校に行ってる。

Q. 過去には場整備の話があったが、中断した。今後地元が手を挙げれば可能か。

A. 補助制度はあるが、以前より住民の熱意が必要だ。民主党政権になって土地改良事業は大幅に予算が削減されている。少しでも反対があれば難しい。

Q. 規模を縮小したらどうか。

A. 最低 10 ヘクタールは必要である。

Q. 野良犬か飼い犬か分からないが、増える一方である。なんとかならないのか。

A. 野良犬は基本的には保健所の担当で、町も協力している。なかなか現実には捕獲できない。困っているのが現状である。

Q. ため池の管理をしているが、台風時などに災害に遭った場合の補償がない。地域の安全のためにやっているのに。

A. 消防団には補償制度はあるが、ため池管理では制度がない。水利組合などで保険をかけるなどして欲しい。

Q. 職員の駐車場の有料化はどうなっているか。県や市は自腹だ。東警察署も自前でやっている。以前の総務課長が職員組合で払うと言った。

A. 県でも出先機関では職員駐車場がある。地価の高いところでは有料という場合もあると思う。本町では借地料もそんなに高くないので、有料にすることは考えていない。